

12 長太地区まちづくり協議会

地域の絆を大切に、安全で活気のある みんなが安心できるまちを目指して



▲長太地区まちづくり協議会の皆さん

平成29年に設立された長太地区まちづくり協議会は、本部及び公民館と5つに分かれた部会が連携して活発に活動しています。1年間を通じて様々な事業・イベントを開催しており、地域の活性化に努めています。また、夏休み期間に児童を預かったり、生活支援を行ったりと、様々な事業を実施しており、世代を超えて、お互いが助け合えるまちづくりを進めています。

今回紹介するのはこの3つの事業！

地域づくり研修生として参加させていただいた①『納涼おどり』、②『夏休み限定児童預かり事業』、③『長太マルシェ』についてご紹介します！

1

納涼おどり

令和6年8月10日(土)の19時から長太公民館駐車場で『納涼おどり』が開催されました！住民同士の交流を図る『納涼おどり』では、長太小学校の児童が制作した灯籠の展示したり、大きなやぐらを中心に地域の皆さんが踊りを舞いました。かき氷や輪投げなどの夜店もたくさん出店しており、こどもたちも楽しめるイベントです。令和6年度はなんと約550名の地域の方々にご参加いただきました！

●市長も参加！

当日は、末松市長も駆けつけて、やぐらの上で地域の皆さんと一緒に踊りを披露しました！



▲踊りを舞う地域の皆さん



ナゴミン

<参加者の声>

近所に住む人だけではなく、地域に住む人みんなが顔を合わせられるので、地域の絆を感じられる温かい行事だと感じます。こどもたちにとっても、地域の大人と触れ合う機会にもなりますし、今後も継続して開催してほしいと思います。

2

夏休み限定児童預かり事業



▲折り紙で遊ぶこどもたちと鈴鹿高校の支援員

<利用者の声>

共働きをしているので、夏休み中はこどもの面倒を見ることが難しく、家でひとりで留守番させるのが不安でした。地域の方や高校生の皆さんに面倒を見てもらえるので、安心して働くことができました。



ナゴミン

長太小学校の一室を借りて、午前9時～午後3時までの間で児童を預かっており、午前中は宿題を教え合ったり、午後はボードゲームなど様々な遊びをして楽しんでいます。地域の方々が支援員として参加し、今年は鈴鹿高校の生徒の皆さんにもご協力いただきました！長太地区独自の事業として注目されており、伊勢新聞様にも取り上げていただきました。

●なぜこの事業が始まったの？

共働き世帯等で夏休み期間中にこどもだけで家にいることを不安に感じている保護者の要望に応え、こどもの安全安心を守るために実施しています。

3

長太マルシェ

令和6年12月8日(日)、長太小学校体育館内で『長太マルシェ』が開催されました！住民同士の交流を図るとともに、中学生や公民館サークル等の日頃の成果を披露することを目的に開催され、季節の野菜や手作りの手芸品、地元の和菓子やキッチンカーなどで賑わい、参加者は500名を超える大盛況ぶりでした。また、体育館の舞台上では、大木中学校吹奏楽部のほか、長太公民館で活動するサークルの皆さんが発表やパフォーマンスを行い、会場を大いに盛り上げていただきました！

●かりんちゃんも登場！

鈴鹿市社会福祉協議会のマスコットキャラクター「かりんちゃん」も登場しました！最後のじゃんけん大会では、大人もこどもも一緒になって盛り上がりました。



ナゴミン

<参加者の声>

お値打ちな野菜やお米をゲットできましたし、「公民館ではこんな活動もやっているんだ」と新たな発見もありました。大木中学校の皆さんの演奏も素敵でした。来年もぜひ参加したいです！



▲長太マルシェ 季節の野菜コーナー



▲かりんちゃんとのじゃんけん大会